



命 ひびき合い

北鹿島地区民・学校・保護者
力を合わせて 子育て中

「きてみんさい祭り」で学校を盛り上げる図書委員会の子等～HP 校長ブログより～

令和6年6月24～28日の期間、「きてみんさい祭り」を開催しました。企画・実行してくれたのは、**図書委員会の子等と担当の中島絵梨香先生と中島聡子先生**です。**子ども等を本好きにするための取組として頑張っていました。**右上の写真は、図書館祭りの期間中の図書室の様子です。図書委員会の子が行う読み語りを聞きに、大勢の子ども等が集まっています。北鹿島の子等は、よく図書室に足を運びますが、図書館祭りの期間中は、黄緑色のスタンプカードを手にして本を借りにやってきます（下左写真）。しおり（下真ん中写真）など、**図書委員会の子等が汗を流して手作り**したものがもらえます。お昼の放送では、子どもたちが毎週読み語りをがんばっています（右下写真）。



子どもたちによりよい教育を行うために ～サマータイム実施にご協力ください～

令和5年8月28日に中央教育審議会「質の高い教師の確保特別部会」から文部科学大臣に対し、提言が行われました。

- ⇒ 教師を取り巻く環境整備について緊急的に取り組むべき施策を行ってほしい
- ⇒ 学校における働き方改革、教師の処遇改善を行うべきである

では、令和6年度の北鹿島小学校職員の勤務実態はどうなのでしょう。

- ⇒ ◆勤務時間 8:00 - 16:30 ◆休憩時間 12:45 - 13:30(45 分間)

※ 時間外勤務(残業)の**国の指針は月 45 時間以下**

△ 子どもの登校や最初の活動に合わせて、半数以上の職員が7:40頃までに出勤。

(7:20 までに出勤する職員が約33%)

△ 時間外勤務は、職員平均では国の指針を達成。しかし、**4・5月ともに超過している職員が、現在半数以上**いる。

△ 休憩時間(昼休みの時間帯)はあるものの職員は、給食指導や宿題点検、子どもの個別の相談を受ける、子どもと遊ぶ等して過ごしている

先生方の健康を守り、教育の専門職として新しい知識や教える技術を学び続けられる環境、

現在毎年新しく採用されてこられる若い先生方が経験豊かな先生と放課後の時間等で語り合える環境、

子どもたちによりよい教育を行うためには、ぜひとも必要なことです。そこで、**6月27日(木曜)に開催した学校運営協議会で下記のような取組を行うことを学校から提言し、委員の方々に賛成していただきました。**つきましては、保護者の方のご意見をいただきたいです。**右上のQRコードから【賛成 反対】及び【ご質問やご意見】をお寄せください。**よろしく願いいたします。

【提案内容】9月の校時表を次のように変更する

「夏場の熱中症対策を兼ねて、昼休みを「45分⇒30分」に短縮する

※昼休みの短縮に伴い、下校時刻が「5時間授業の時＝14:30」「6時間授業の時＝15:20」と15分早くなります



今年の北鹿島の学力の育て方

ホームページに「令和6年度学校評価計画」をアップしています。学校は学び舎ですから、「学力の向上」を一番大切にしています。

今年の取り組みは以下の5つです。※一部表現変更

○職員は、校内や校外の優れた先生方と放課後や長期休業中に授業づくりや生徒指導等を学び合い、自分自身の指導技術を高めます。そのために年間2回以上、授業を見せ合います。

○児童は、タブレット端末を授業で活用し、家庭に持ち帰っての学習にも取り組みます。

○3年生以上の児童は、自分ができる内容・興味のある内容で自学ノートに取り組みます。

○家庭は、月に1度の「家読週間」に取り組み、家で読書をする習慣を根付かせます。

そのことで、日常の話すことばだけでなく、書物にしか出てこないことばを子どもに貯金させます。

○児童は、学年に応じた本を選んで読みます。

○家庭は、毎月のノーテレビ・ノーゲームデーをがんばります。そのことで、「良いことは良い」「だめなことはだめ」と言える「子どもに頼られる親」になります。(100%達成を目指します)。

つぎに、令和6年4月18日に実施しました学力・学習状況調査の結果をお伝えします。

※国や県との比較

3ポイント以上の差があったら「やや高い」「やや低い」

6ポイント以上の差があったら「高い」「低い」

◆3年生のNRT（標準学力検査）

【国語】低い【算数】やや低い

◆4年生のNRT

【国語】ほぼ同じ【算数】ほぼ同じ

◆5年生の佐賀県学力・学習状況調査

【国語】低い【算数】低い

◆5年生の全国体力・運動能力調査

【男子】ほぼ同じ【女子】やや高い

◆6年生の全国学力・学習状況調査

【国語】結果発表待ち【算数】結果発表待ち

授業では頑張っている姿を多く見かけます。しかし、この調査では、3年生と5年生では学んだことが定着している子とそうでない子の差が激しい結果となりました。学校は、この結果を受け止め、職員全員で子ども等、一人一人の個の学力が向上するような指導方法が実現できるよう全員で研鑽に励んで参ります。家庭では、その日に学校で学んだことを忘れないように復習に力を入れていただくと、有り難いです。家庭での平日の学習時間は、

1・2年生は「30分間」より少し多く

3・4年生は「45分間」より少し多く

5・6年生は「60分間」より少し多くでした。夏期休業中は、これよりも多く頑張れたら良いと思います。「継続は力なり」だと私たち大人は分かっていますから、背中を押しましょう。なお、個人ごとの調査結果につきましては、7月25日（木曜）から始まる個人面談の折に担任から「個票」をお渡しします。できていることをまずは家庭でも学校でもしっかりと認め、夏休みの間に追いつけるところは、復習を頑張らせていきましょう。



7月11日 4年生「鹿島の水」学習
鹿島市水道課の職員さんと



7月2日 大阪フィルハーモニー交響楽団の皆さんと



7月 1年生「水遊び」学習
吉田美砂子先生と



7月9日 3年生「浮立面づくり」
小森恵司先生と